

令和5年度 第2回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 次第

日 時:令和5年11月27日(月)11時15分～

場 所:本庁舎4階 政策会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

・浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン行動計画〔第2期〕案について

4. 閉 会

20231127版

改定案

浦和美園～岩槻地域
成長・発展プラン
行動計画〔第2期〕

令和6年3月
さいたま市

目次

第1章 行動計画〔第2期〕の策定について……………1

- 1. 行動計画〔第2期〕策定の目的……………1
- 2. 行動計画〔第2期〕の実践方策の体系……………2
- 3. 計画期間と成長目標……………2
- 4. 東部地域の持続的な成長・発展に向けた各地区の実践方策と具体的事業……………4
- 5. 地下鉄7号線延伸及び中間駅まちづくりの実践方策と具体的事業……………10

第2章 成長目標と進行管理……………12

- 1. 成長目標指標の設定……………12
- 2. 進行管理……………13

第1章 行動計画〔第2期〕の策定について

1. 行動計画〔第2期〕策定の目的

さいたま市では、副都心として位置づけられている浦和美園駅周辺地区と岩槻駅周辺地区を結ぶ地域（以下「東部地域」という。）についての成長・発展に向けた方策とその行程をまとめた「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」（以下「プラン」という。）を平成24年9月に策定しました。

その後、平成30年10月にプランを改定し、長期的視点に立ち、まちづくりの理念や目標等を明確化した基本計画と、地域の成長・発展を具体的に推進するための実践方策や具体的事業を定める行動計画に区分し、様々な取組を推進してきました。

このたび、地下鉄7号線延伸事業が事業実施段階に入り、鉄道の建設期を迎えるという状況変化を踏まえ、行動計画〔第2期〕を策定し、東部地域の持続的な成長・発展の取組を拡充するとともに、地下鉄7号線延伸事業と中間駅まちづくり事業を推進していきます。

浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン 平成24年9月策定

浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン 平成30年10月改定

基本計画

理念：地域を育て、鉄道を育てる

目標：東部地域のまちづくりを推進し、多核ネットワーク※1の形成を目指す

方針：①東部地域の成長・発展による持続可能なまちづくり

②埼玉高速鉄道への成長支援及び沿線地域の連携協働によるまちづくり

③市民と行政の協働、大学等との連携でまちづくりを推進し、延伸の実現

行動計画 平成30年度～令和4年度

行動計画〔第2期〕 令和5年度～令和9年度

実践方策 ①東部地域の持続的な成長・発展に向けた取組

②地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の具体化

※1 多核ネットワーク：大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区、浦和駅周辺地区の2都心と、日進・宮原地区、武蔵浦和地区、美園地区、岩槻駅周辺地区（岩槻駅周辺及び東岩槻駅周辺）の4副都心間の鉄道ネットワーク。

第1章 行動計画〔第2期〕の策定について

2. 行動計画〔第2期〕の実践方策の体系

行動計画〔第2期〕では、「東部地域の持続的な成長発展に向けた取組」と「地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の具体化」を実践方策の2つの軸とします。

「東部地域の持続的な成長・発展に向けた取組」については、「住みやすさの向上」を図るため、都市基盤の整備・改善や質の高い居住環境の形成などに取り組みます。また、「地域価値の向上」を図るため、地域の情報発信の促進、観光・地域活性化イベントの実施、地域交流の促進や担い手の発掘などに取り組みます。

「地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の具体化」については、鉄道延伸事業と中間駅まちづくり両事業の事業監理を計画に盛り込み、事業化に向けた取組を着実に推進します。

これら2つの実践方策を両輪として進めることで、「東部地域の持続的な成長発展に向けた取組」は、地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の事業性向上に寄与し、他方で「地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の具体化」は、東部地域に対する期待を高め、地域の持続的な成長発展に向けた取組の効果をより高めるものと考えます。

2つの実践方策の推進によって、プラン基本計画の目標に掲げるように「東部地域のまちづくりを推進し、多核ネットワークの形成」を目指します。そして、まちづくりの効果を市全体に波及させることで、均衡ある成長により市全体の価値を高め、「東日本の中枢都市づくり」を推進していきます。

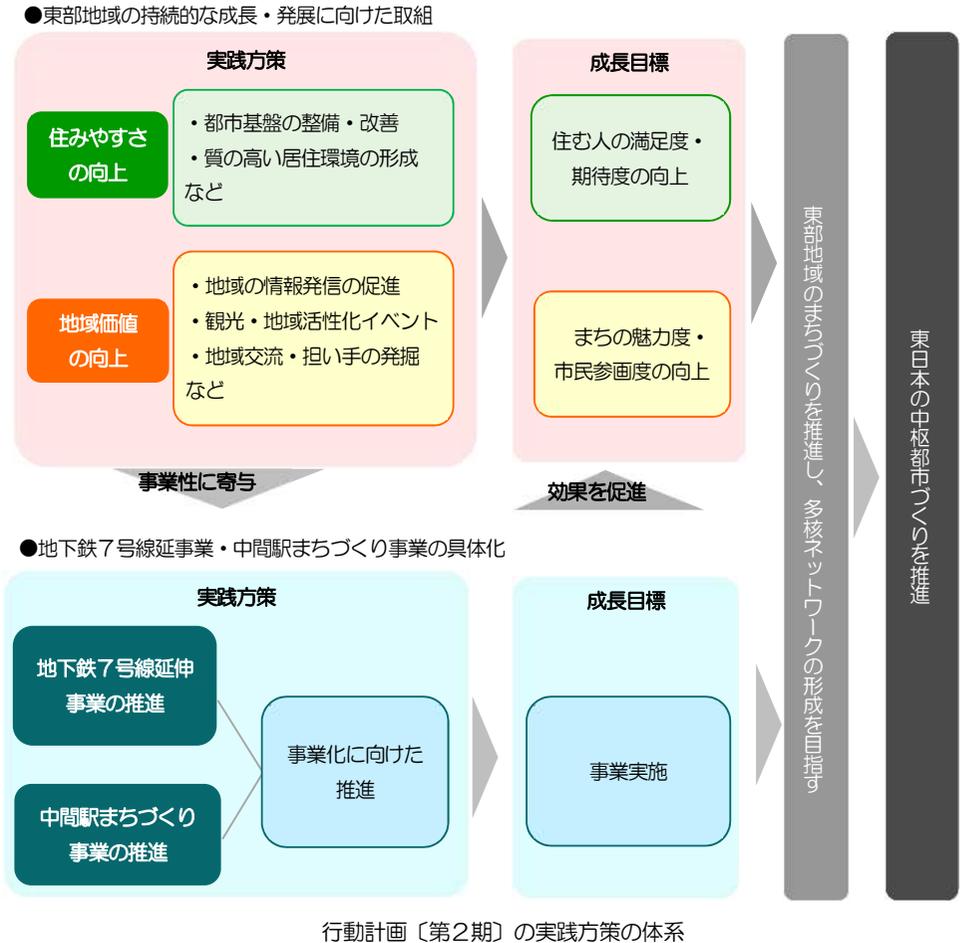
3. 計画期間と成長目標

行動計画〔第2期〕の計画期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

実践方策に取り組む上で、

- ・「住みやすさの向上」については、「住む人の満足度・期待度の向上」
- ・「地域価値の向上」については、「まちの魅力度・市民参画度の向上」
- ・地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の具体化については、「事業実施」

をそれぞれ、計画期間における成長目標とします。



浦和美園駅周辺地区

| まちづくりの方向性 |

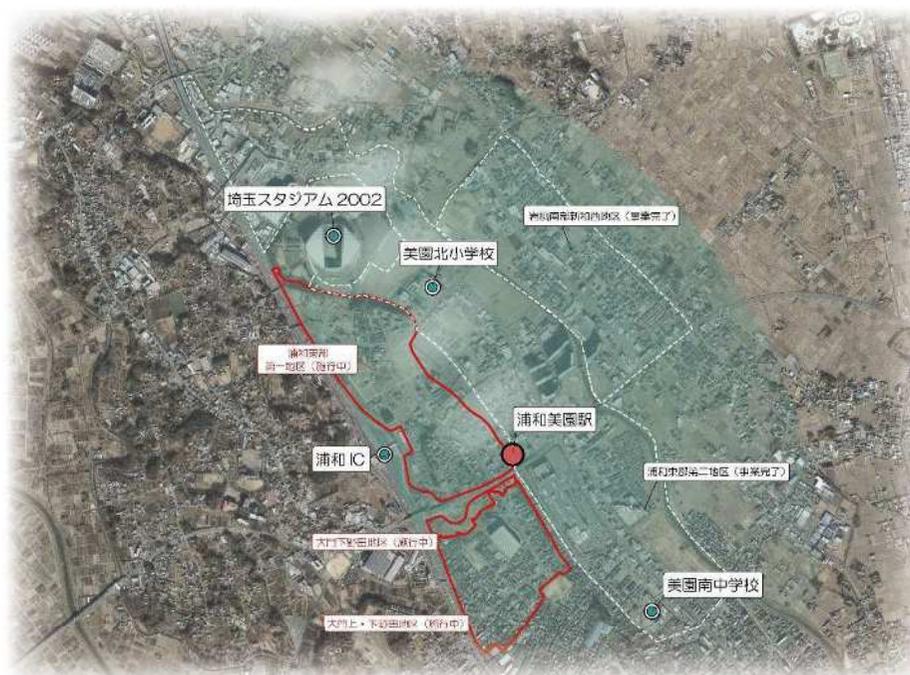
スポーツ、健康、環境・エネルギーを
テーマにした新しいまちの創造

まちづくりの先駆者として、環境・エネルギーをはじめとした多様な取組や効果を市全体に波及させることを目指し、持続性と発展性を見据えた戦略的な成長コントロールに取り組む。

住みやすさの向上

都市基盤の整備

- ・地下鉄 7 号線延伸事業の推進
- ・土地区画整理事業の推進（市施行）
- ・土地区画整理事業の推進（組合施行）
- ・公園・緑地の整備



質の高い居住環境の形成

- ・自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・〈公民＋学〉連携によるスタジアムタウンのまちづくりの推進
- ・病院等の整備計画（埼玉県）への協力
- ・認可保育所等の整備の検討



地域交流・担い手の発掘

- ・参加と協働によるまちづくりの推進
- ・コミュニティ施設等の利便性向上

地域価値の向上

地域の情報発信の促進

- ・地域の魅力情報発信
- ・観光 PR 事業
- ・企業立地の促進
- ・地場産農産物の流通・消費拡大



地域活性化イベント

- ・埼玉高速鉄道(株)と連携した沿線の魅力発信やイベントの実施
- ・埼玉スタジアム2002を活用したスポーツイベントの開催
- ・さいたまスポーツコミッションへの支援による地域スポーツの機会創出
- ・ランニングイベントの開催



岩槻駅周辺地区

「まちづくりの方向性」

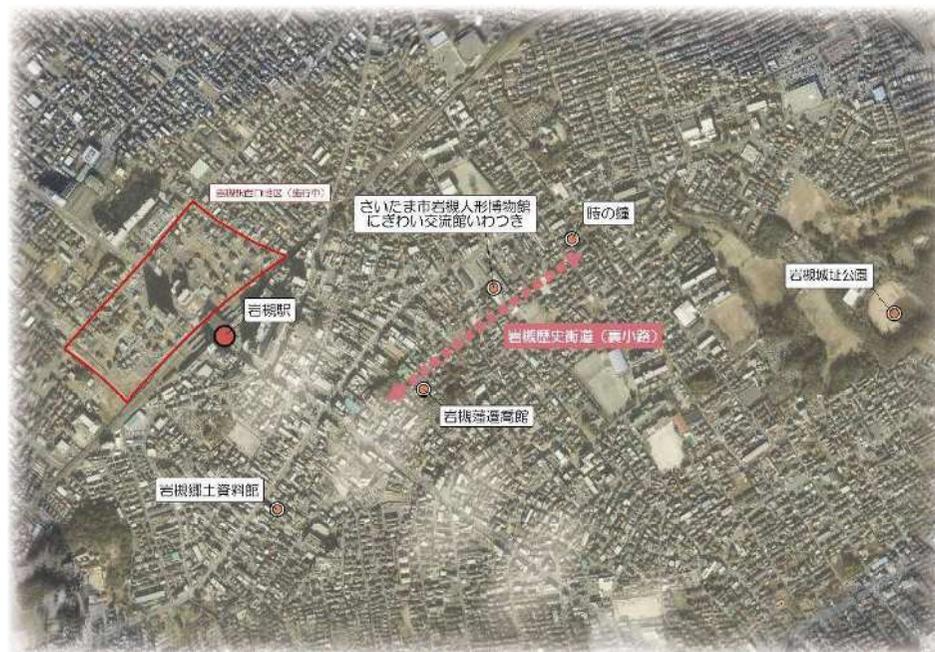
城下町や人形のまちとして、歴史・文化が息づく、ふれあいとおもてなしのまちの創出

城下町の風情や人形などの地域資源を活かし、新たな付加価値を創出し、ふれあいとおもてなしによって、まちの魅力に磨きをかける。また、これからのまちづくりの担い手を育成していく。

住みやすさの向上

都市基盤の整備・改善

- ・ 地下鉄7号延伸事業の推進
- ・ 土地区画整理事業の推進（市施行）
- ・ 土地区画整理事業の推進（組合施行）
- ・ 公園・緑地の整備
- ・ 鉄道延伸による結節点としての岩槻駅周辺地区の市街地整備のあり方の検討
- ・ 岩槻歴史街道事業



地域価値の向上

地域の情報発信の促進

- ・ 地域の魅力情報発信
- ・ 観光 PR 事業
- ・ 企業立地の促進
- ・ 地場産農産物の流通・消費拡大
- ・ 岩槻人形博物館を拠点とした人形文化の振興・発信
- ・ にぎわい交流館いわつきの活用



質の高い居住環境の形成

- ・ 自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・ 身近な公共交通の充実
- ・ ウォーカブルなまちづくりに向けた取組



地域交流・担い手の発掘

- ・ 地域の事業者と連携した商業活性化の取組の推進
- ・ リノベーションまちづくりの推進
- ・ 参加と協働によるまちづくりの推進
- ・ コミュニティ施設等の利便性向上



観光・地域活性化イベント

- ・ 五節句イベントの開催と PR
- ・ 地域観光資源の活用
- ・ ウォーキングイベントの開催（岩槻区）



中間駅周辺地区・その他東部地域

「まちづくりの方向性」

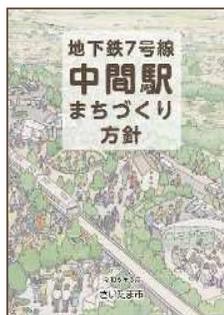
自然と共存し、地域資源を活用したまちの創造

現行の地域資源を最大限に活用するために新たな創造力をもって施策を展開し、鉄道延伸及び中間駅設置にあわせたまちづくりを戦略的に創造する。

住みやすさの向上

都市基盤の整備

- ・ 地下鉄7号線の延伸事業の推進
- ・ 中間駅まちづくり事業の推進
- ・ 核都市広域幹線道路の延伸の推進



地域価値の向上

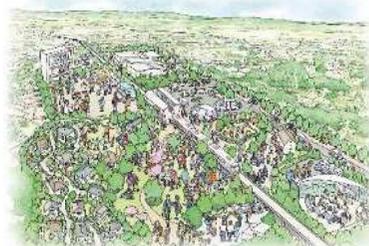
地域の情報発信の促進

- ・ 地域の魅力情報発信
- ・ 観光 PR 事業
- ・ 見沼田圃の活用・情報発信
- ・ 企業立地の促進



質の高い居住環境の形成

- ・ 自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・ 身近な公共交通の充実



地域交流・担い手の発掘

- ・ 目白大学での公開講座の開催
- ・ 参加と協働によるまちづくりの推進

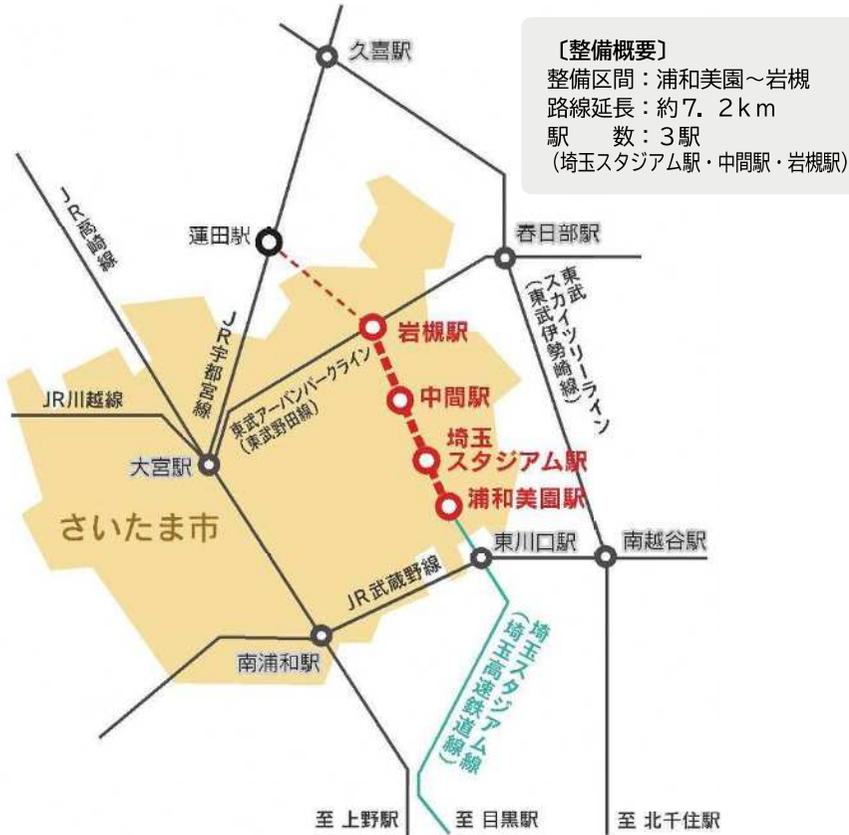


観光・地域活性化イベント

- ・ さいたマーチ ～見沼ソーデーウォーク～
- ・ ウォーキングイベントの開催（見沼区）

地下鉄7号線延伸事業の推進

地下鉄7号線の延伸により東京都心部・さいたま市中心部へのアクセスが高まり、交通ネットワークが充実される。これにより速達性の向上や利便性の向上による東部地域の成長・発展は飛躍的に推進するとともに、沿線地域への新たな都市機能の立地促進、周辺地域からの来訪者の増加など、さいたま市全域に波及効果が期待される。



- － 延伸の効果1－**
- 東京圏の鉄道ネットワーク強化
 - 東武アーバンパークラインへ結節
 - 安定した鉄道輸送サービス提供
 - 都心部への速達性の向上
 - 乗換減少による利便性の向上
 - 鉄道空白（不便）地域の解消
 - 既存の鉄道路線の混雑緩和
 - 高齢者の移動手段（公共交通）の確保

- － 延伸の効果2－**
- 災害時等の代替路線機能の充実
 - 多様な代替ルートによるリスク回避
 - 通勤、通学の平行路線遅延時の代替
 - 延伸線沿線の埼玉スタジアム、各種公共施設と連携した災害時のリスク対応

中間駅まちづくり事業の推進

中間駅周辺地区は、鉄道沿線の浦和美園・岩槻地区と連携しながら、豊かな自然環境を活かし、多様なライフスタイルを尊重することで、人々がつながり、ウェルビーイングを実現できるまちの形成を図る。

■まちづくりのテーマと方針

- テーマ1** ニューノーマルに相応しい、多様性に対応した職住遊学を実現するまち
- 方針① 在宅ワークなどフレキシブルワークに対応したゆとりある住環境を創出します。
 - 方針② 多様なライフスタイルに合わせた生活の質の高さ（QOL）の向上を目指します。
- テーマ2** 楽しむオープンスペースにより、人々がつながるまち
- 方針① スマートな交通結節と居心地のよいオープンスペースによるウォーカブルを推進します。公園などの緑豊かな自然を活かした滞在できる空間により、人々のつながりと地域活力を創造します。
- テーマ3** 自然と最先端技術が融合した持続可能なまち
- 方針① SDGs：ゼロカーボン実現に向けた建築・情報・エネルギーシステムを導入します。
 - 方針② 産学公民の連携による、地域と人の健康維持など社会施策に取り組みます。
 - 方針③ 先端技術を活かした安全に暮らせるまちづくりを推進します。
- テーマ4** 地域内外のつながりにより成長し続けるまち
- 方針① 各種機能を共有することにより、さいたま市全域への波及効果を目指します。
 - 方針② 浦和美園、岩槻との連携と地域特性を活かした持続成長を目指します。
 - 方針③ 中間駅周辺地域との連携を強化し、まちづくり方針の実現に向けた産学公民による地域マネジメントに取り組みます。

■土地利用配置方針と基盤整備イメージ



※この図は、まちづくりを検討するために位置関係を仮定したものであり、詳細として決定しているものではありません。

第2章 成長目標と進行管理

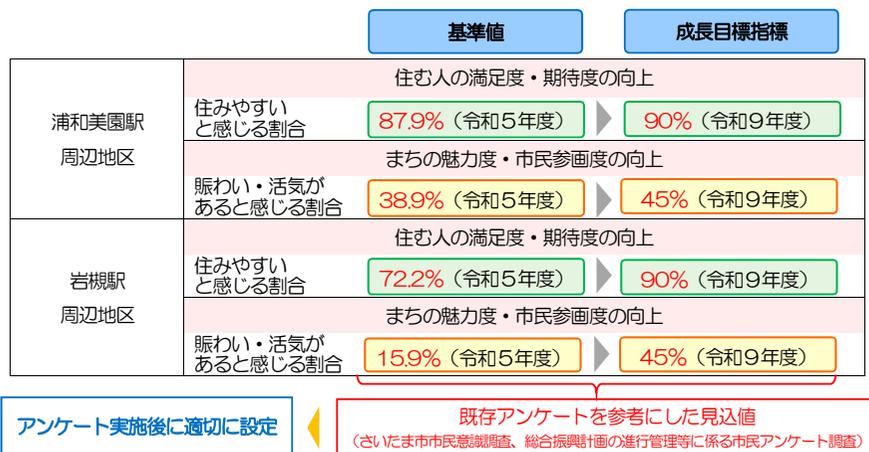
1. 成長目標指標の設定

(1) 東部地域の持続的な成長・発展に向けた取組の成長目標指標

東部地域の持続的な成長・発展に向けた取組について、浦和美園駅周辺及び岩槻駅周辺の在住者へのアンケート調査の結果を踏まえ、初年度の基準値及び5年後の定量的な成長目標指標を設定しています。

《客観的評価のためのアンケート》

浦和美園駅及び岩槻駅からそれぞれ、概ね半径1km以内の在住者1,000人を対象に、「住みやすさ」や「地域価値」に対する住民意識についてアンケート調査を実施し、成長目標の達成度を客観的に評価します。



◆定住人口及び交流人口
定住人口・交流人口については、継続して管理指標として設定し、持続的な成長発展を目指し、各種実践方策を推進していきます。

地区	項目	基準値 (令和4年度)	令和9年度 指標	
浦和美園駅 周辺	定住人口	約23千人	約29千人	
	交流人口	埼玉スタジアム観戦者	約534千人/年	約1,000千人/年
		イベント来訪者	約308千人/年	約450千人/年
岩槻駅周辺	定住人口	約11千人	約17千人	
	交流人口	・岩槻人形博物館 ・にぎわい交流館いづつき	約180千人/年	約180千人/年 以上
		イベント来訪者	約298千人/年	約480千人/年

(2) 地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の成長目標指標

地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の具体化について、各事業で、計画期間の最終年度までに実施するべき事項を、成長目標指標に設定しています。

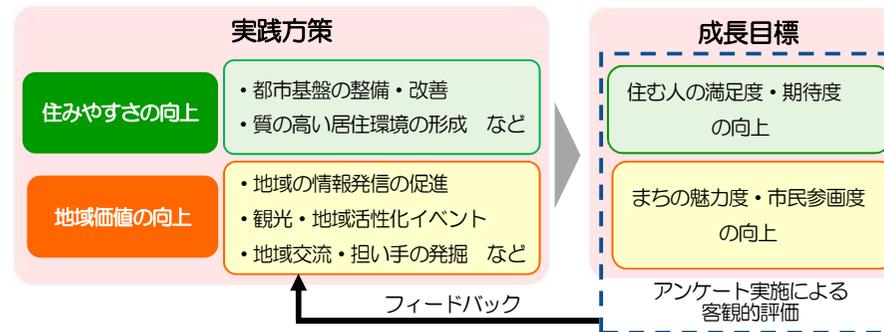
地下鉄7号線 延伸事業の推進	事業要請 (令和5年度)	都市計画手続き開始 (令和9年度)
中間駅まちづくり 事業の推進	まちづくり概略設計 (令和5年度)	都市計画手続き開始 (令和9年度)

2. 進行管理

東部地域の持続的な成長・発展に向けた取組の進行管理については、各種実践方策の進捗とともに、アンケート調査の客観的評価の結果を踏まえ、弱みとなる分野の実践方策へフィードバックし、拡充を図ることで、成長目標である「住む人の満足度・期待度」や「まちの魅力度・市民参画度」の向上のための進行管理を行います。

地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の具体化については、両事業の着実な実施に向け、事業監理を行います。

●東部地域の持続的な成長・発展に向けた取組



●地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり事業の具体化



浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン 住民意識に関するアンケート（案）

本アンケートは、『浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン』の推進にあたり、地域の成長発展をより促進させるために、浦和美園駅及び岩槻駅周辺地域にお住まいの方を対象に住民意識に関する内容について、アンケート調査を行うものです。

【アンケート記入にあたってのお願い】

回答は、以下のいずれか1つの方法でお願いします。

- ①返信用封筒に入れて郵便で回答（切手不要）
- ②インターネットで回答（右記のQRコードからアクセス）

※回答フォームには、アンケート調査票の右上に記載の整理番号（例：0000）を入力してください。同じ整理番号で回答が重複した場合、①の郵送で返送された回答を有効とさせていただきます。

【回答締切】

令和6年1月●●日(●)

本アンケート及び『浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン』の内容等について、ご不明な点等ございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

《問い合わせ先》
さいたま市 都市戦略本部 未来都市推進部
東部地域戦略担当
(電話 048-829-1871)
(FAX 048-829-1997)
(電子メール mirai-toshi-suishin@city.saitama.lg.jp)

＜アンケート回答用紙＞

【あなたの属性について】

アンケートの回答にあたり、あなたの属性について、以下の項目にお答えください。

問1. あなたは、現在どちらにお住まいですか。（○は1つ）

- 浦和美園駅周辺（緑区） 岩槻駅周辺（岩槻区）

問2. あなたの性別についてお答えください。（○は1つ）

- 男 女 選べない・答えたくない

問3. あなたの年齢についてお答えください。（○は1つ）

- 18歳～19歳 20歳～29歳 30歳～39歳
 40歳～49歳 50歳～59歳 60歳～69歳
 70歳～79歳 80歳以上

問4. あなたのご職業についてお答えください。（○は1つ）

- 自営業主・家業手伝い 勤め人（正規職員・正社員）
 勤め人（パート・アルバイトなど） 学生 専業主婦・専業主夫
 無職
 その他

問5. あなたは、現在の「地域」にお住まいになって何年になりますか。（○は1つ）

- 1年未満 1～3年未満 3～5年未満
 5～10年未満 10～20年未満 20年以上

問6. あなたの同居している家族構成はどれにあたりますか。（○は1つ）

- 一人暮らし 夫婦だけ 親子（2世代） 親と子と孫（3世代）
 その他

問7. あなたの現在の居住形態についてお答えください。（○は1つ）

- 持ち家の一戸建て 持ち家の集合住宅 社宅、公務員住宅など
 民間の借家（一戸建て、集合住宅） 公営の借家（UR、市・県営住宅など）
 その他

障害者支援に参加する機会	1	2	3	4	5
子育てや教育支援に関する機会	1	2	3	4	5

問16. 問14と問15でお答えいただいた項目の他に、地域の賑わいや活気の向上にとって期待することや重要と考えるものがありましたら、以下にご記入ください。

問17. 市で行う地域情報の発信方法について、どの程度充実していると感じますか。

(各項目の充実度に○を1つ)

項目	充実度				
	〔1 充実している 2 やや充実している 3 やや充実していない 4 充実していない 5 わからない〕				
市報さいたま	1	2	3	4	5
市や区のパンフレット・ちらし	1	2	3	4	5
市や区のホームページ	1	2	3	4	5
市のSNS (X・Facebook・LINE・Instagram)	1	2	3	4	5
市の動画 (YouTube公式チャンネル)	1	2	3	4	5
自治会の回覧版・掲示板	1	2	3	4	5

問18. その他、お住まいの地域のまちづくりについて、ご意見がありましたら以下にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート調査票は、以下のいずれかの方法で令和6年1月●●日(●)までにご回答ください。

- ①記入後、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストへ投函
- ②QRコードからアクセスしたアンケートフォームによりインターネットで回答

令和5年度 第2回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1 日 時 令和5年11月27日（月） 11：15～11：30

2 会 場 さいたま市役所 4階 政策会議室

3 出席者 座長 清水市長
副座長 日野副市長、高橋副市長、小川副市長
委員 都市戦略本部長、財政局長、スポーツ文化局長、環境局長、
経済局長、都市局長、建設局長、見沼区長、
緑区長、岩槻区長

4 議事概要

(1) 挨拶（座長）

- ・浦和美園～岩槻にかけての東部地域の成長・発展を実現するため、成長・発展プランにより、これまで全庁的に各種実践方策に取り組んできた。
- ・現在は、東部地域の成長・発展を、引き続きさらに推進するために、行動計画〔第2期〕の策定作業を進めている。
- ・本日は、その案について、議論を頂きたいと考えている。
- ・委員の皆様には活発な発言をお願いするとともに、今後も引き続き、本市の東部地域の成長・発展に向け、全庁的な推進に協力いただきたい。

(2) 議事に関する事務局説明

- ・浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン行動計画〔第2期〕案についてを資料に沿って説明。

(3) 議事に関する意見交換

（意見なし）

(4) 議事に関する座長意見

- ・「住む人の満足度・期待度の向上」、「まちの魅力度・市民参画度の向上」に加え、定量的な目標として定住人口や交流人口の増加についても、引き続き成長目標として位置付けていただきたい。

(5) 座長より会議の総括

- ・東部地域の成長・発展、並びに、地下鉄7号線延伸及び中間駅まちづくりを実現するためには、今年度拡充する行動計画〔第2期〕によって、より一層、全庁で連携した取り組みが必要になる。
- ・関係する所管においては、協力をお願いしたい。

【事務局】都市戦略本部 未来都市推進部